

## 事業者向け アジール放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標	工夫している点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	0	利用定員以上のスペースは確保しているが、活発に動く児童がいる際などの対応は必要である。	集団で過ごす場所以外にも、個別で過ごせるスペースを確保するなど、その時の状態にあった過ごし方ができるよう配慮している。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	1	0	その日によって利用人数に差があるため、利用人数の多い日などは職員数を多く配置するなどの調整ができれば良い。	必ず男性と女性の職員を配置し、同性介助が出来るようにしている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0		事業所内はバリアフリー化されており、トイレ内や入り口周りなどもスペースを多くとり、車椅子の方でも利用可能となっている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	0	勤務体系の違う非常勤職員は終礼に参加できないことが多い。	1日の支援終了後に、常勤職員で終礼を行い、職員間での支援の見直しを行っている。その内容は業務日誌に記載し、その日にいない職員へも共有している。 また、毎月の運営会議では事業計画の振り返りを行っている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	アンケート調査は年1回の自己評価表と利用希望調査のみである。	保護者の意向は電子連絡帳の「家庭より」の欄に記載してもらうことで、職員間で共有している。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0		毎年、4月にHPで公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	1	法人内での評価は行っているが、外部評価は行っていない。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0		虐待防止研修をはじめ、支援技術向上のための研修を年2回ほど行っているほか、キャリアパス研修等への参加も行っている。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0		半年に1回のモニタリングを適切に行ったうえで、月に1回、「個別支援計画検討会議」を開催し、職員全員でニーズの把握や課題について話し合いを行っている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0		心理士による任意の感覚プロフィール検査や田中ビネー式知能検査を実施し、その内容を「個別支援計画検討会議」にて共有している。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0		月に1回「プログラム検討会議」を開催し、発達段階や個々の好み、能力に合わせたプログラムの立案を行っている。
⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0		季節や行事に合わせた内容の催しや活動、子ども達からの意見・希望を取り入れた活動を提供している。	

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	感染症の流行が途切れず、休日や長期休暇の過ごし方が事業所内にとどまることが多くなった。	個々の好みや能力に合わせたプログラムを提案し、成功体験を積むことで次のステップに意欲的に取り組むことができるよう設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	活動の詳細については個別支援計画に記載していないが、一人ひとりに合わせた支援内容を作成している。	個別活動時の意思決定はもちろん、集団活動での参加の有無を自身で選択できるようにしている。また、余暇時間などの過ごし方を子どもたち自身が選択できるよう、構造化した仕組みを作っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0		支援開始前にその日の支援担当職員が集まって昼礼を実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	0		支援終了後にその日の支援担当職員が集まって終礼を実施している。話し合った内容は業務日誌に記載し、その日不在であった職員にも周知している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0		電子連絡帳を用いて、その日にあったエピソードのほか、どのような状態の時に職員からどのような支援を行ったかを記載している。また写真も添付することでどのように過ごしていたかを保護者に共有している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0		半年に1回のモニタリングのほか、保護者からの希望があれば面談の機会を設けて、計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	0	0		「プログラム検討会議」にて活動内容を決める際、5領域に沿った内容を検討している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	時間の関係で、限られた職員しか支援会議に参加できていない。	児童発達支援管理責任者のほか、直接支援員も参加できるようにしている。また、支援の統一や情報共有が必要と思われる児童へは、支援会議が開催できるよう調整を行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	0		学校から配布される月報・週報のほか、電子連絡帳を用いてその日の下校時刻を保護者に確認してもらっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	1	看護師の配置がなく、医療的ケア児の受け入れは行っていない。	契約時にかかりつけ医の連絡先を確認している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3	1	必要な場合は保護者を通して依頼しているが、直接の情報共有と相互理解には至っていない。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1	0		保護者の希望があった際は、会議の開催や文章にて情報を提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4	0		支援センターが主催の研修に参加をしている。

者との連携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	1	現在は交流の機会はない。	
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	5	1	0		上尾・桶川・伊奈地域の放課後等デイサービス部会のコアメンバーとして管理者が参加している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0		電子連絡帳の「家庭より」の欄で、その日の体調や様子、発達や支援内容について日頃から連絡を取れる環境にある。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	2	専門知識のあるものが不在であるため、行えていない。	
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0		契約の際に重要事項説明書とともに説明を行っているほか、必要があれば都度周知している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0		要望があれば、面談の機会を設けて相談支援を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	4	2		法人イベントなどで保護者同士が顔を合わせる機会は設けている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0		苦情受付担当者を定め、法人のスキームに沿って行うようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0		「アジール通信」として放課後等デイサービスの広報誌を月に1回発行しているほか、法人広報誌「SOUZOU」も年に2回発行している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6	0	0		利用者の個人情報に関わるものは全て、鍵のついたキャビネットに保管している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0		特性に応じたコミュニケーションツールの活用や、PECSや文字盤を使用したコミュニケーションの練習も行っている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	0	0		年に数回、法人主催のイベントに地域住民の方を招待して開催している。
非常時	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3	0	マニュアルの作成は行われているが、保護者への周知までは至っていない。	HPIに公開するなど、誰もが手軽に確認できる方法を模索中。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0		年に2回の避難訓練のほか、法人でBCPに沿った防災訓練を年に1回実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0		年に2回の虐待防止研修の実施のほか、県主催の虐待防止についての研修動画などの視聴を行っている。

等 の 対 応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0		虐待防止委員会を中心に身体拘束マニュアルを作成し、それに沿った対応を行っている。やむを得ず身体拘束を行う場合には同意書を作成し、本人と保護者に説明を行い同意をいただいた上で、個別支援計画に記載している。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	0	医師の指示書の確認までは出来ていない。	保護者への聞き取り、もしくは依頼により、アレルギーの一覧表を作成し、食事やおやつ提供の際は確認しながら対応している。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0		kintoneアプリを利用し、職員全体に共有を行っている。